

(2) 学校教育への満足と要望・期待

①学校教育に対する満足度

(14) あなたは、学校教育についてどの程度満足していますか。

(とても満足している、満足している、どちらともいえない、満足していない、全く満足していないから選択)

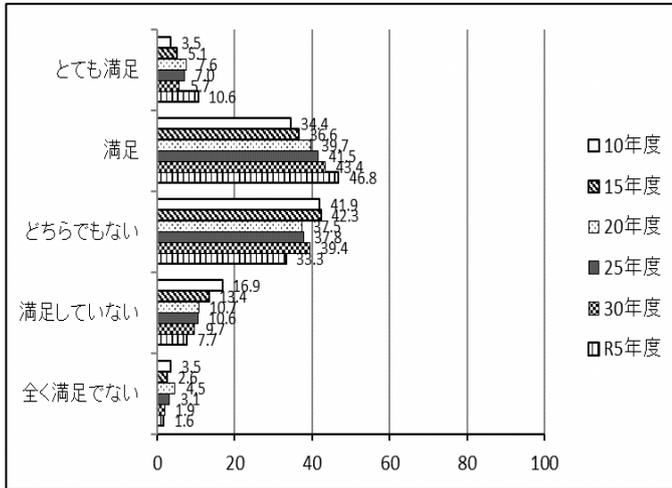
A 教師の子どもに対する理解

C 先生と保護者との話し合い

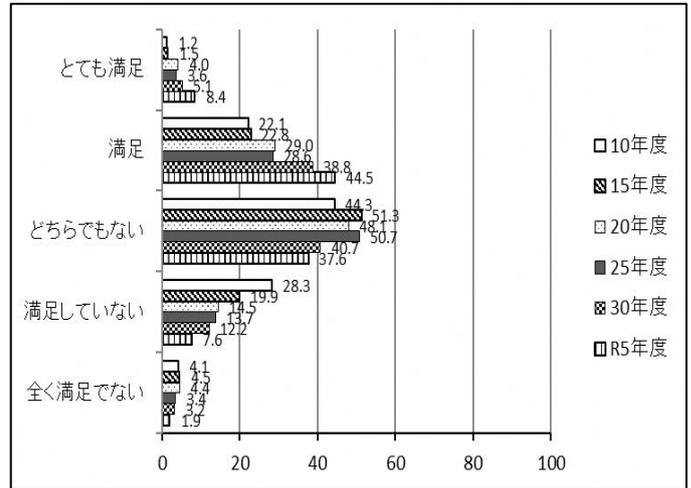
B 教師間での教育方針の一致度

D 施設・設備などの教育環境

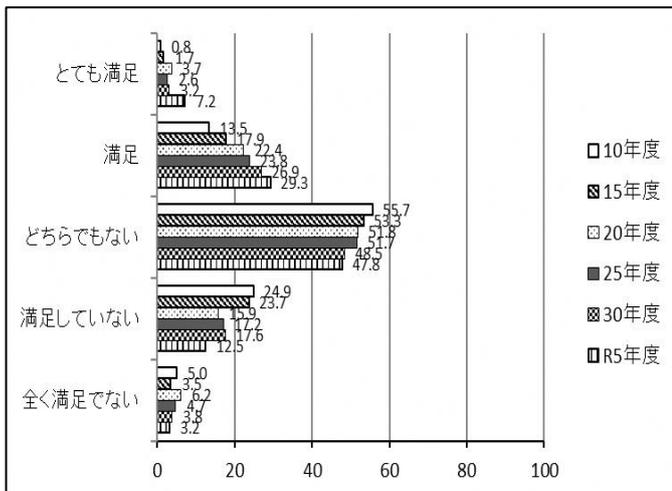
(14) A教師の子どもに対する理解 (小学生保護者)



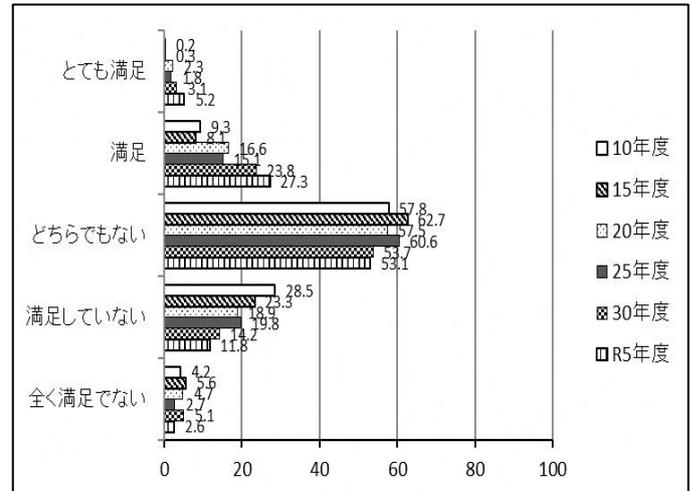
(14) A教師の子どもに対する理解 (中学生保護者)



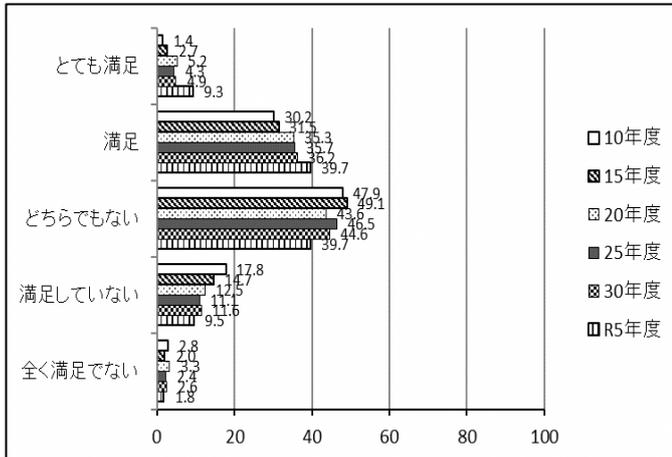
(14) B教師間での方針の一致度 (小学生保護者)



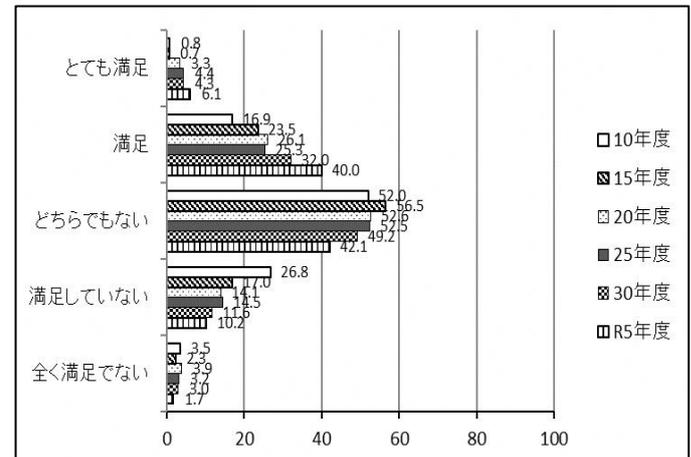
(14) B教師間での方針の一致度 (中学生保護者)



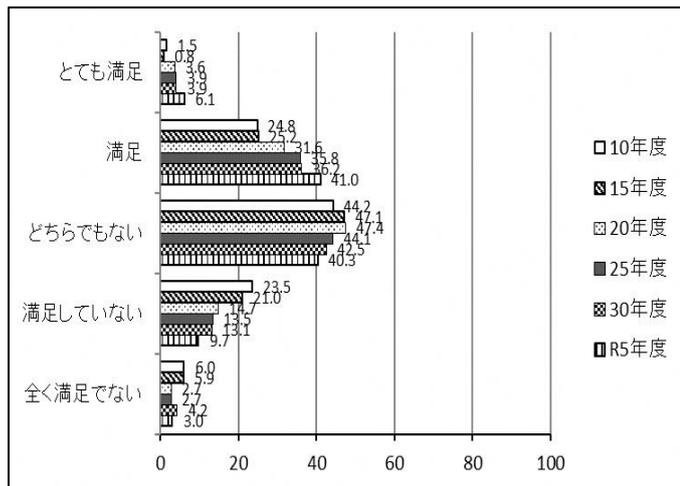
(14) C先生と保護者との話し合い (小学生保護者)



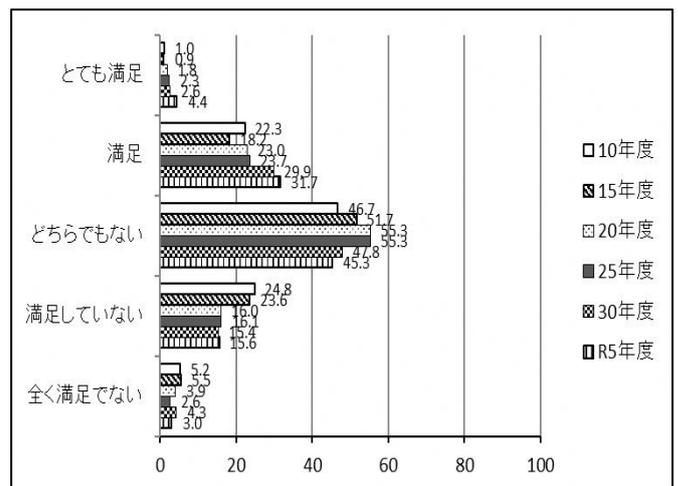
(14) C先生と保護者との話し合い (中学生保護者)



(14) D施設・設備などの教育環境（小学生保護者）



(14) D施設・設備などの教育環境（中学生保護者）



＜令和5年度の結果＞

前回の調査と今回の調査における、「とても満足」「満足」を合わせた割合と、小・中学校の差は、以下の表の通りである。（％は省略）

	30年度		令和5年度		差
	小学校	中学校	小学校	中学校	
A 教師の子どもに対する理解	49.1	57.4	57.4	52.9	+8.3
B 教師間での方針の一致度	30.1	36.5	36.5	32.5	+6.4
C 先生と保護者との話し合い	41.1	49.0	49.0	46.1	+7.9
D 施設・設備などの教育環境	40.1	47.1	47.1	36.1	+7.0

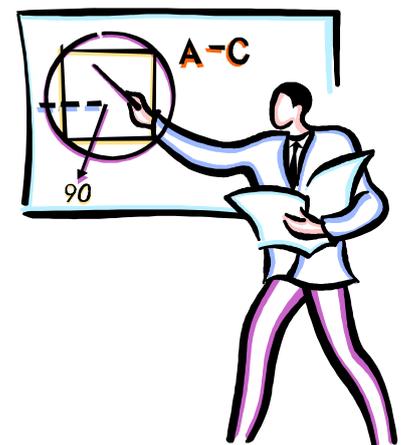
前回調査と今回調査を比較すると、学校に対する満足度について、小学校と中学校の「とても満足」「満足」を合わせた割合は、4つすべての項目において増加している。中学校では前回よりも大きく増加している。（*）

しかしながら、4つすべての項目において、小学校、中学校とも「とても満足」の回答が少ない。

＜平成10年度から令和5年度を通しての変化＞

「とても満足」「満足」の回答に注目すると、4つすべての項目で、今回の調査が最も高い。

「B 教師間での方針の一致度（中学生保護者）」、「C 先生と保護者との話し合い（小学生保護者）」、「D 施設・設備などの教育環境（小学生、中学生保護者）」では、「全く満足でない」の回答が前回より減少している。



②学校への期待

(10) あなたは、お子さんの通っている学校にどのような教育を望みますか。

(とても望む、望む、どちらともいえない、望まない、まったく望まないから選択)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 実社会への適応力を身につける教育 | 3. 礼儀や作法等を身につける教育 |
| 2. 心の豊かさを育てる教育 | 4. 進学に役立つ学力のつく教育 |

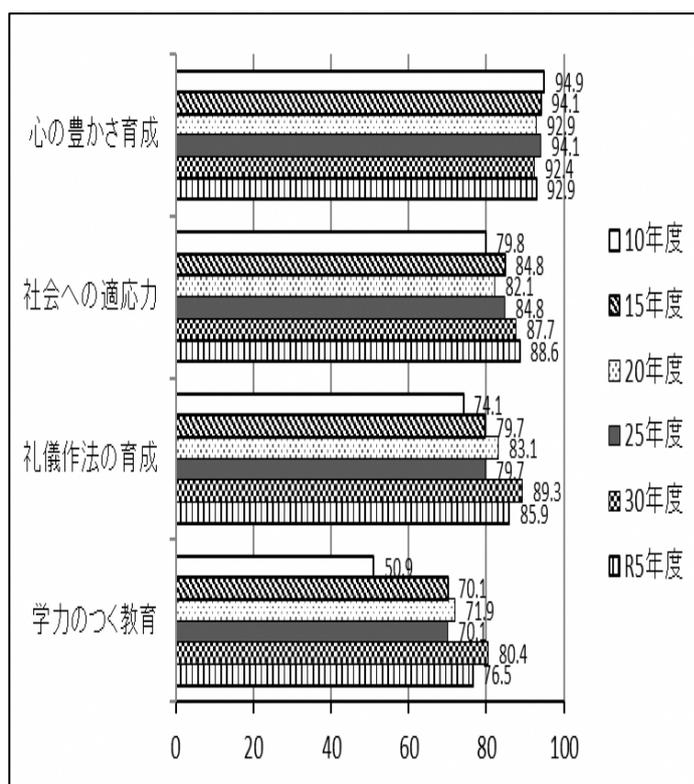
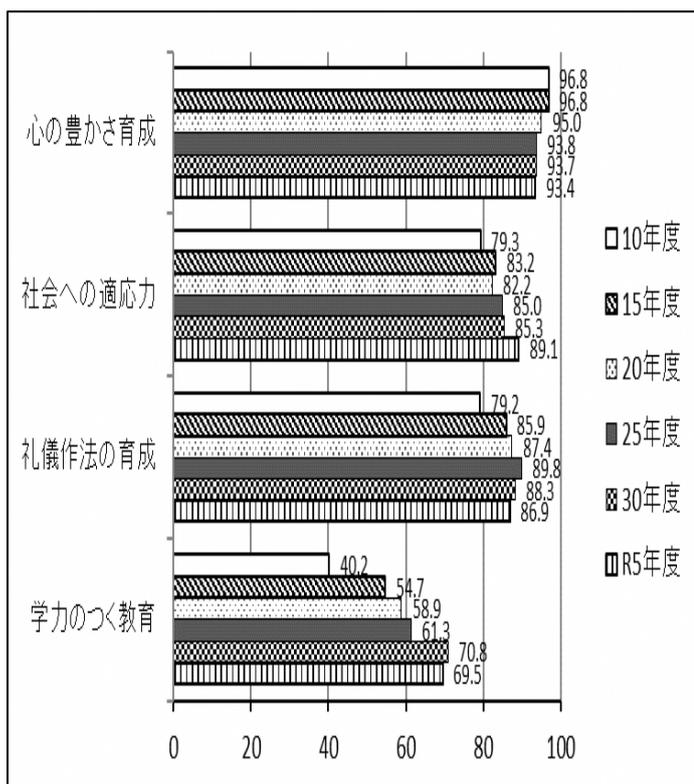
※グラフは、「とても望む」「望む」を合わせたもの

(10) どのような教育を望むか（小学生保護者）

〈とても望む+望む〉

(10) どのような教育を望むか（中学生保護者）

〈とても望む+望む〉



〈令和5年度の結果〉

小学生、中学生の保護者ともに、最も多い割合で望んでいるのは「心の豊かさを育てる教育」である。そして、「進学に役立つ学力のつく教育」が最も低い。「礼儀や作法等を身につける教育」と「実社会への適応力を身につける教育」という順で割合が多かった。

〈平成10年度から令和5年度を通しての変化〉

小学生、中学生の保護者ともに、「実社会への適応能力を身につける教育」が増加している。

(*)

また、小学生、中学生の保護者ともに「心の豊かさを育てる教育」を望む割合が年々減少傾向にある。

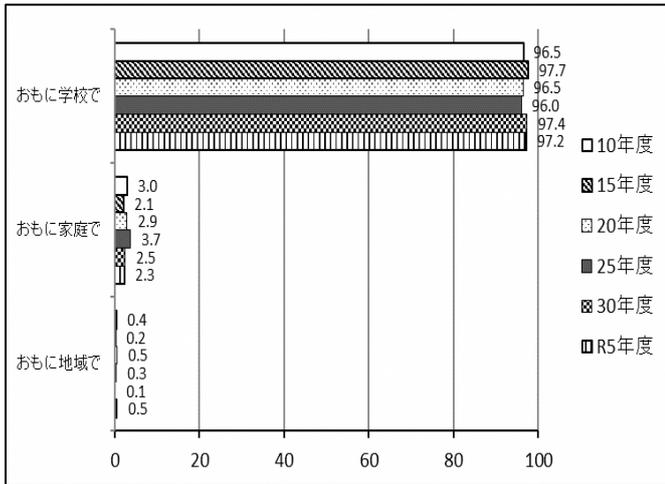
③教育の分担

(11) あなたは、お子さんが次のようなことをどこで身につけるのがよいと思いますか。

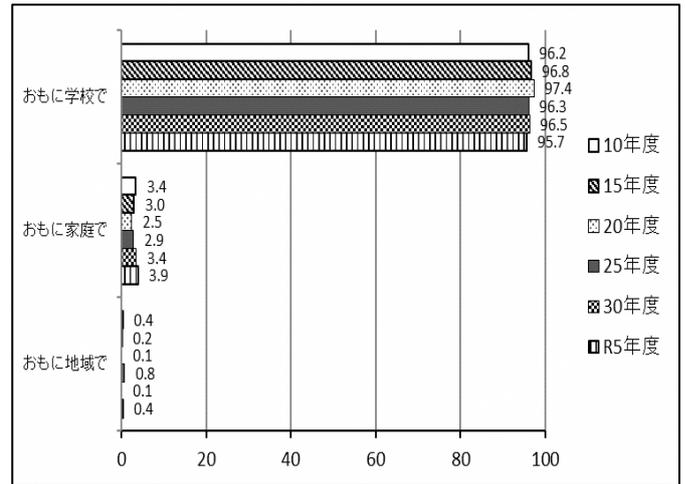
(おもに学校で、おもに家庭で、おもに地域でから選択)

- | | |
|------------------------------|---------------------|
| A 基礎的な学力 | E 人とのつきあい方 |
| B 受験（検）に対応できる学力 | F 自分の身の安全の守り方 |
| C 基本的な生活習慣(あいさつ、言葉遣い、歯みがきなど) | G 他人を思いやる心 |
| D 集団生活のルール | H インターネット上でのマナーやモラル |

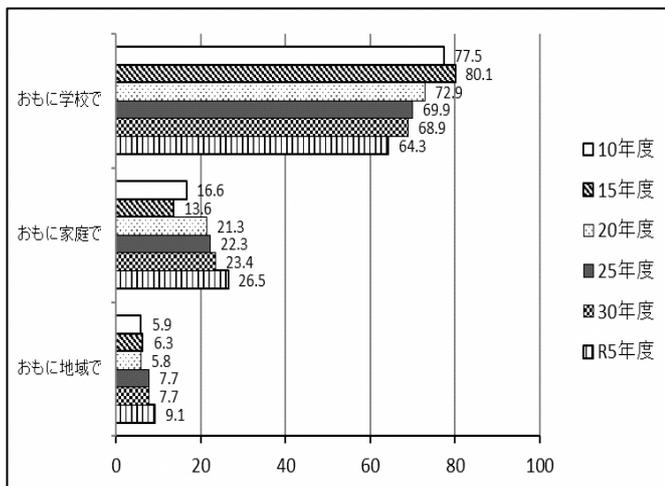
(11) A 基礎的な学力（小学生保護者）



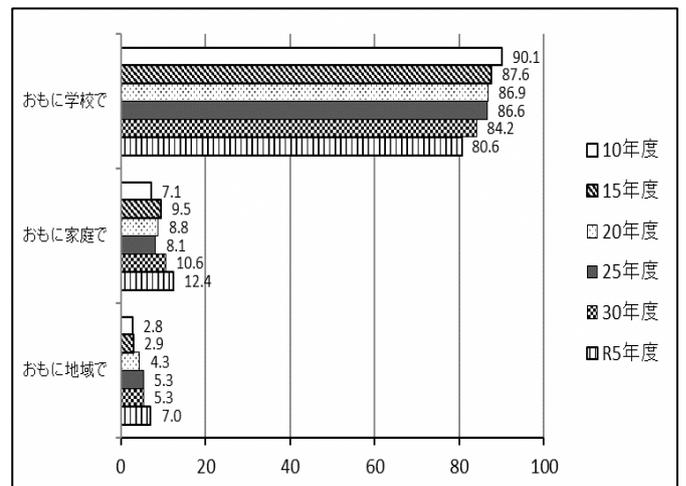
(11) A 基礎的な学力（中学生保護者）



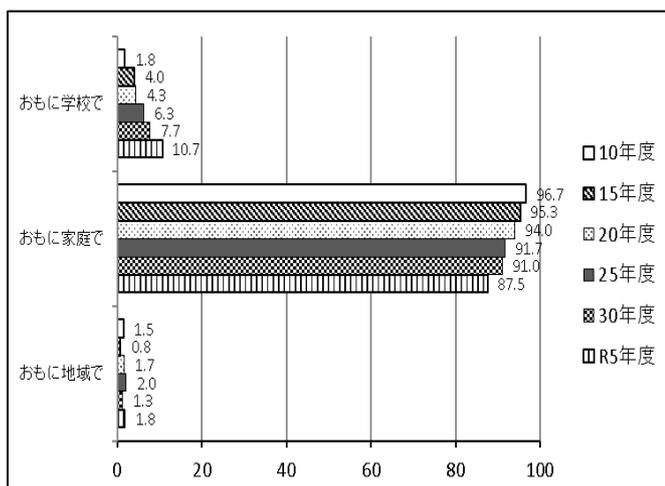
(11) B 受験（検）に対応できる学力（小学生保護者）



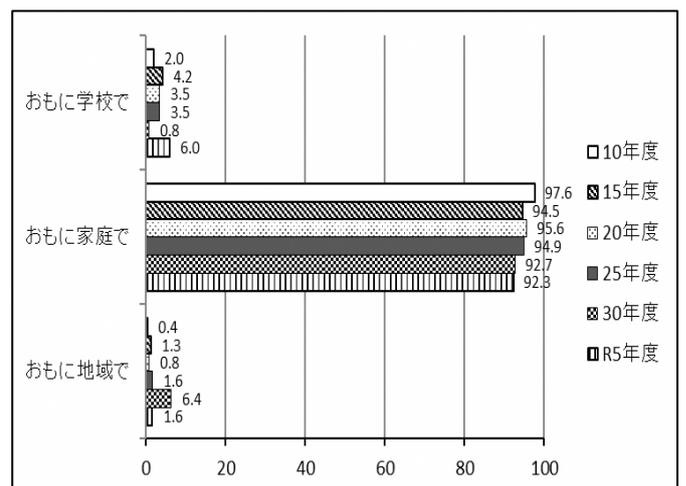
(11) B 受験（検）に対応できる学力（中学生保護者）



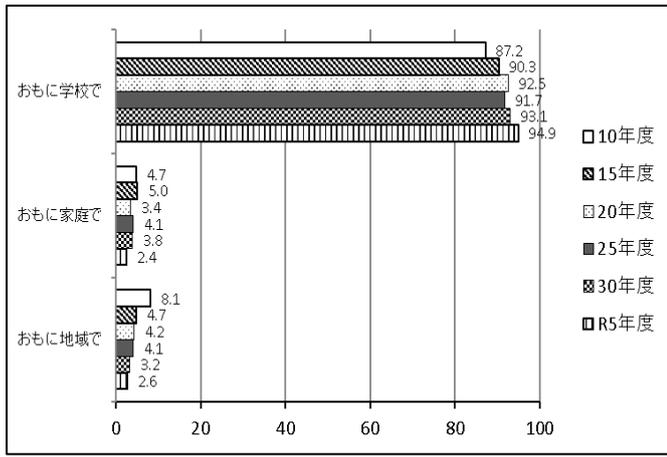
(11) C 基本的な生活習慣（小学生保護者）



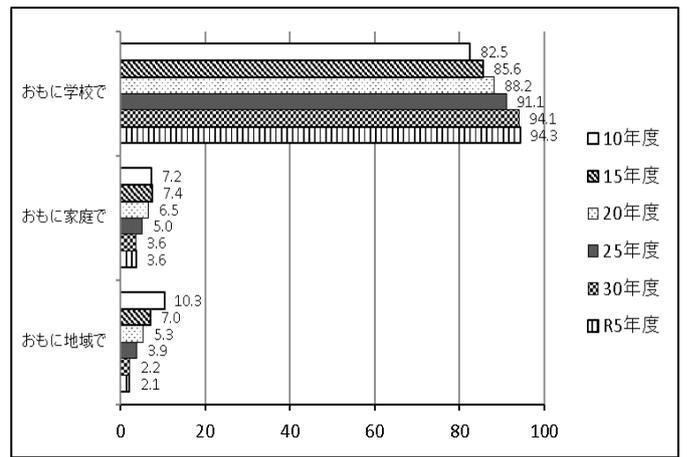
(11) C 基本的な生活習慣（中学生保護者）



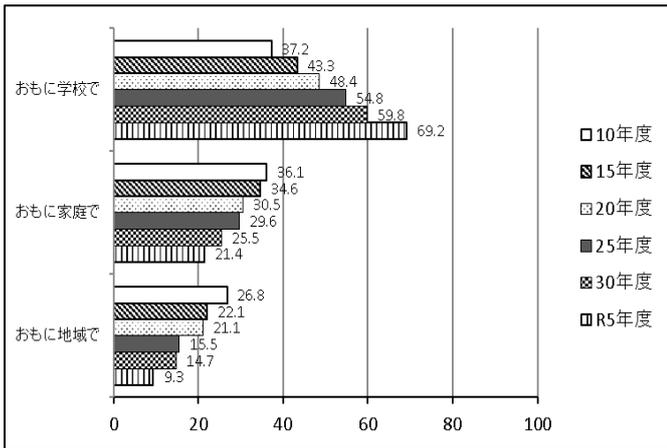
(11) D 集団生活のルール (小学生保護者)



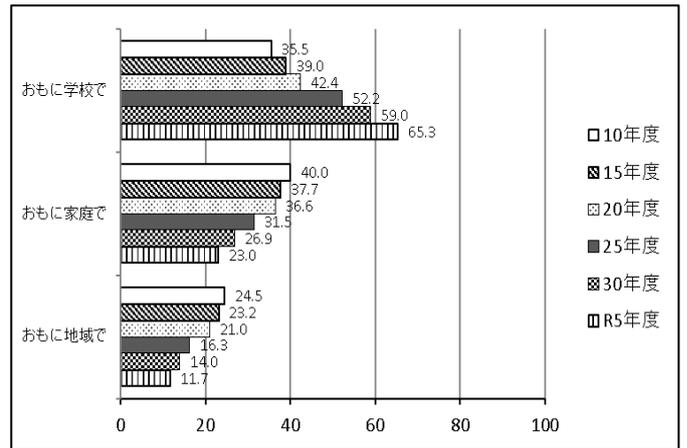
(11) D 集団生活のルール (中学生保護者)



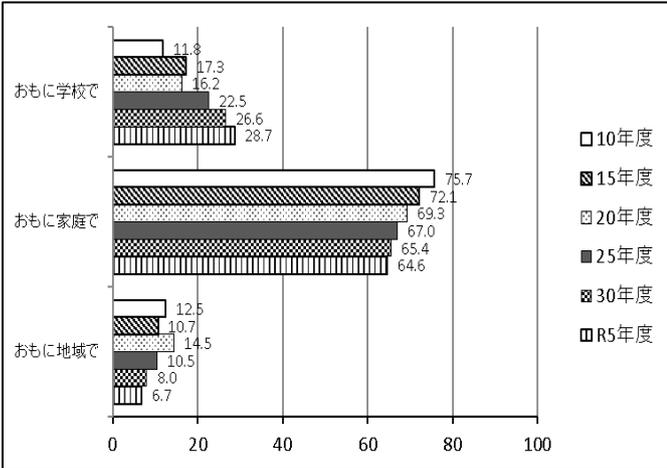
(11) E 人とのつきあい方 (小学生保護者)



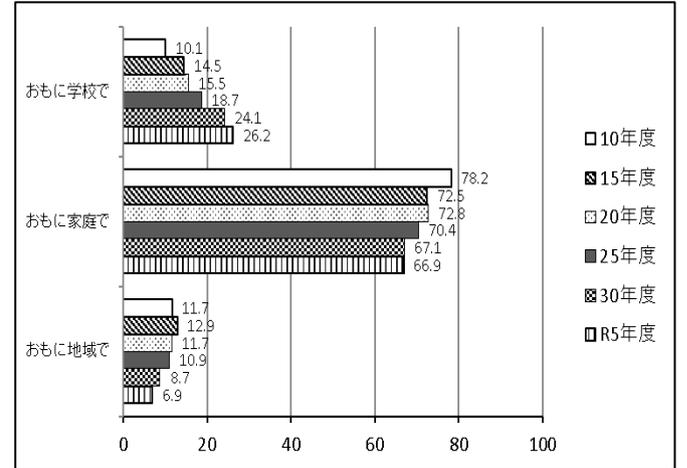
(11) E 人とのつきあい方 (中学生保護者)



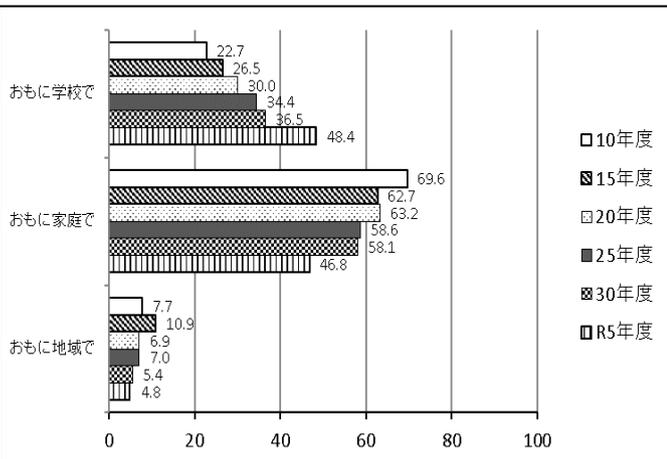
(11) F 身の安全の守り方 (小学生保護者)



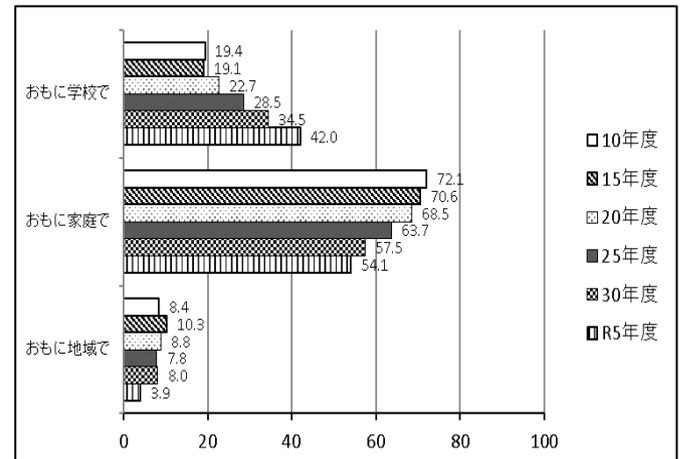
(11) F 身の安全の守り方 (中学生保護者)



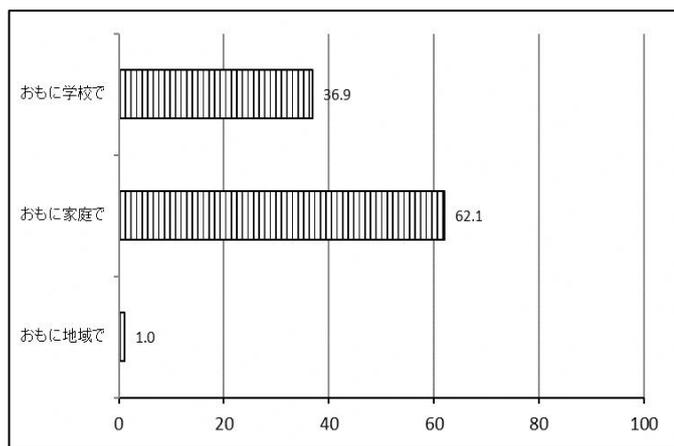
(11) G 他人を思いやる心 (小学生保護者)



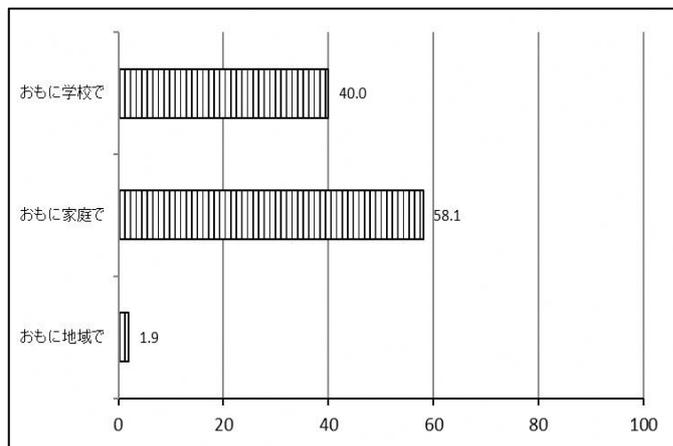
(11) G 他人を思いやる心 (中学生保護者)



(11) H インターネット上のマナー（小学生保護者）



(11) H インターネット上のマナー（中学生保護者）



※「H インターネット上でのマナーやモラル」を追加。受験→受験（検）に変更。

＜令和5年度の結果＞

小学生、中学生の保護者ともに、おもに学校で身に付けるとよいの値が「C 基本的な生活習慣」「D 集団生活のルール」「E 人とのつきあい方」「F 自分の身の安全の守り方」の回答で過去最高となった。

おもに家庭で身に付けるのがよいの値が過去最高だったのは「B 受験に対応できる学力」である。

＜平成10年度から令和5年度を通しての変化＞

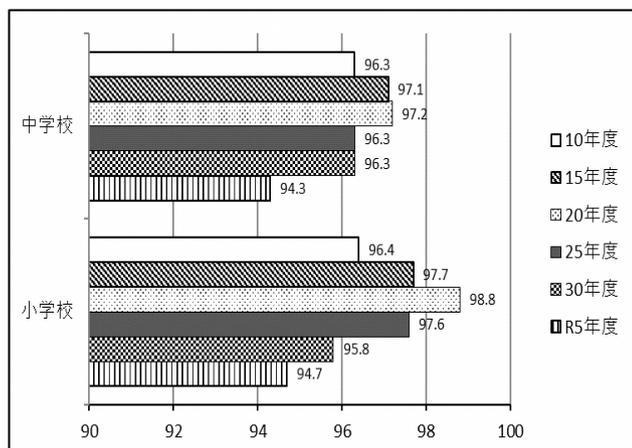
「C 基本的な生活習慣」では、9割以上がおもに家庭で身に付けるのがよいと回答しているが、調査年度毎に減り続けており、小学生の保護者で「おもに学校で」の回答が増加している。
(*)

「E 人とのつきあい方」「F 自分の身の安全の守り方」「G 他人を思いやる心」についても、「おもに学校で」の回答が近年増加している。(*)

「B 受験に対応できる学力」については、「おもに学校で」が減少している。「A 基礎的な学力」については、「おもに学校で」が9割以上で、大きな変化は見られない。

(12) あなたは、「学校と地域が一緒になって、子どもたちを育てる」という考えについてどうお考えですか。
1. よいことだと思う。 2. 必要がない。

(12) 学校・地域が一緒になって、子どもたちを育てるのはよい



＜令和5年度の結果＞

「学校と地域が一緒になって、子どもたちを育てる」という考え方については、多くの保護者が「よいことだと思う」と回答している。

＜平成10年度から令和5年度を通しての変化＞

小学生、中学生の保護者ともに、「学校と地域が一緒になって、子どもたちを育てる」ことを肯定的にとらえている。

④進路指導に対する要望

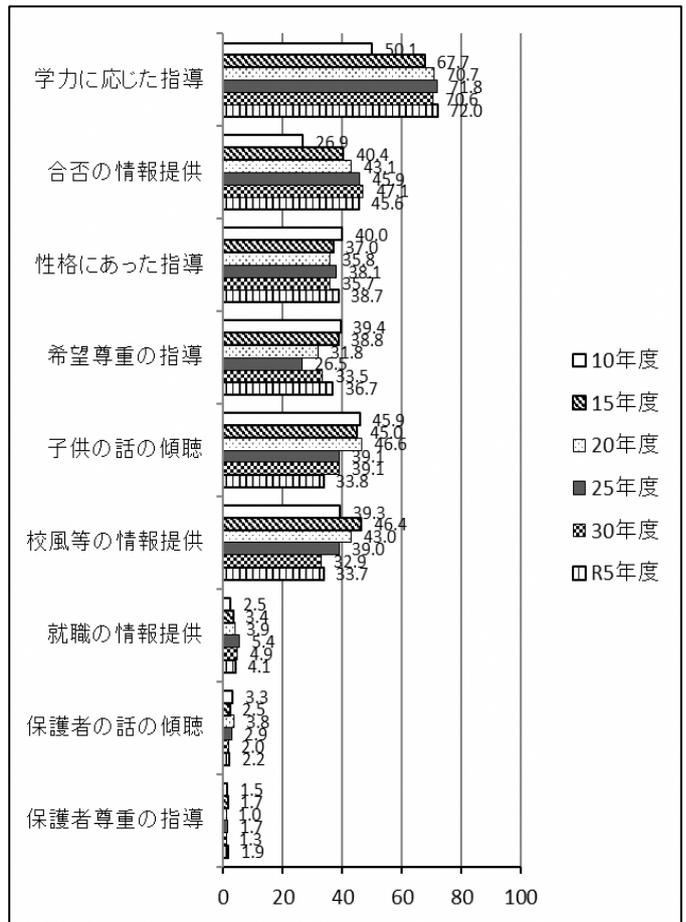
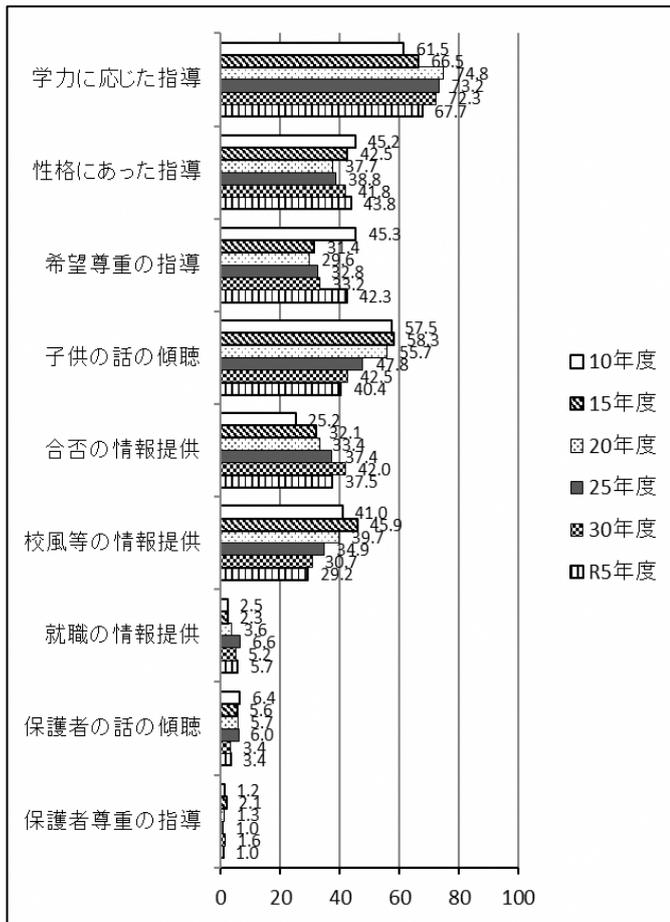
(16) あなたは、中学校でどのような進路指導を行ってほしいですか。

(小学生の保護者の方はお子さんの中学入学後のことを考えてお答えください。3つまで。)

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 子どもの学力に応じた指導 | 6. 保護者の話をゆっくり聞くこと |
| 2. 子どもの性格にあった指導 | 7. 各高校の合格の難易度などの詳しい情報提供 |
| 3. 子どもの希望を尊重した指導 | 8. 希望校の校風や指導方針などの情報提供 |
| 4. 保護者の希望を尊重した指導 | 9. 就職に関する詳しい情報提供 |
| 5. 子どもの話をゆっくり聞くこと | |

(16) 進路指導への望み (小学生保護者)

(16) 進路指導への望み (中学生保護者)



<令和5年度の結果>

進路指導での要望として、小学生の保護者では7割弱、中学生の保護者では7割強が「子どもの学力に応じた指導」を望んでいる。

<平成10年度から令和5年度を通しての変化>

中学生の保護者では、「子どもの話をゆっくり聞くこと」よりも、「合格の難易度などの詳しい情報の提供」が重視されてきている。(*)「就職に関する詳しい情報の提供」「保護者の話をゆっくり聞くこと」「保護者の希望を尊重した指導」は今回の調査でも低い割合となった。

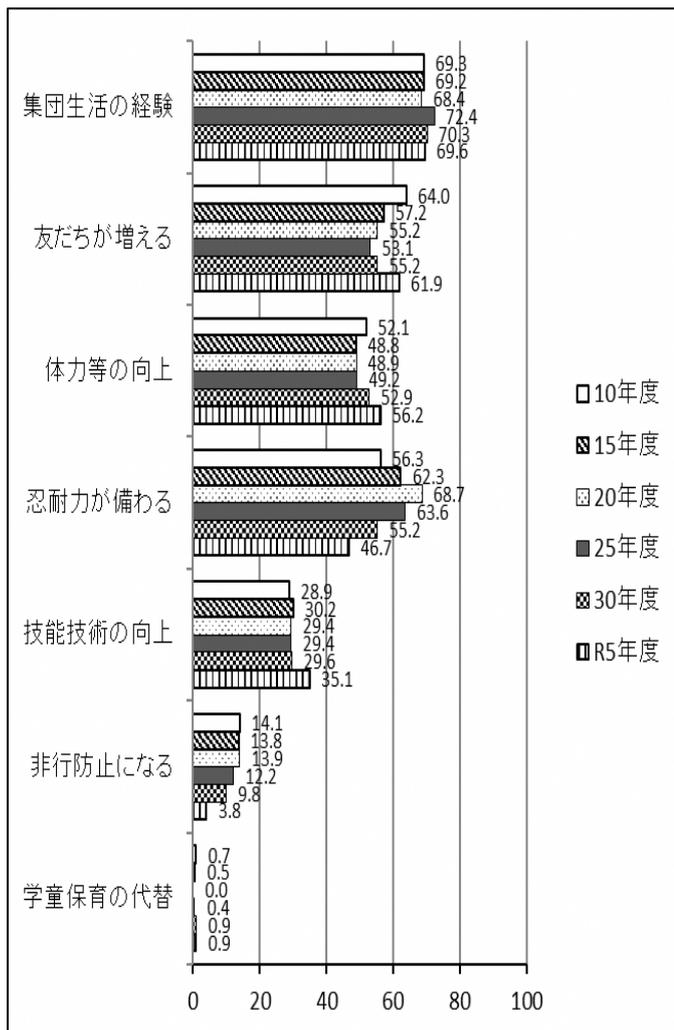
⑤部活動に対する期待

(17) あなたは、中学校の部活動をすることで、よいと思う点は何ですか。

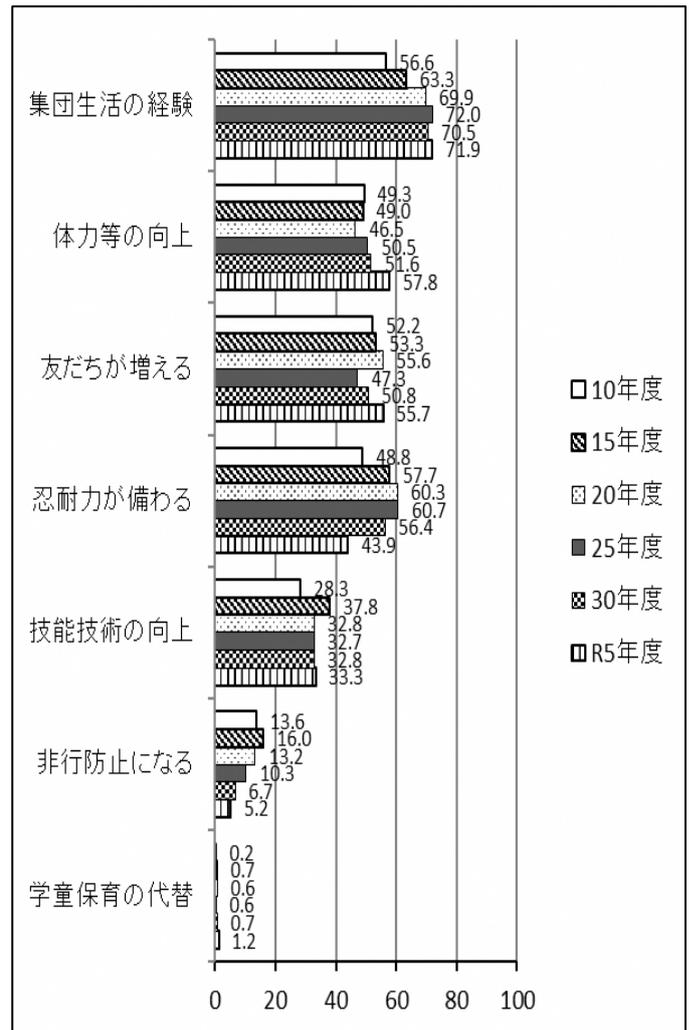
(小学生の保護者の方はお子さんの中学入学後のことを考えてお答えください。3つまで。)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 忍耐力が備わる | 5. その活動の技能や技術が向上する |
| 2. 体力が向上し、健康によい | 6. 非行防止になる |
| 3. 友だちが増える | 7. 学童保育の代わりになる |
| 4. 集団生活の経験ができる | |

(17) 部活動の良い点 (小学生保護者)



(17) 部活動の良い点 (中学生保護者)



<令和5年度の結果>

「集団生活の経験ができる」が7割前後で最も多く、続いて「忍耐力が備わる」「友だちが増える」「体力等の向上」が続いている。

<平成10年度から令和5年度を通しての変化>

今回の調査では、小学生、中学生の保護者ともに「友だちが増える」は増加した。また、中学生の保護者では、「集団生活の経験」が平成10年度は6割弱であったが、平成25年度、30年度、令和5年度において7割を超えた。